

第111号 1975.6

時局に処する協会のありかた 一第28回定時総会における会長挨拶（平泉貞吉）  
嗅覚のメカニズム 一嗅覚研究の最近の進歩一（高木貞敬）  
嗅覚の分子基礎（菊池俊英）  
においの発現 一青葉アルコールに関する研究:生物有機化学的展望一  
（畑中顕和）  
植物中のマルトール（高石清和）  
フレーバーの合成単体香料に関する最近の進歩  
第二部テアゾール系含硫化合物系香料化合物（松倉十一）  
微生物による香気物質の生成（平野勝久）  
ピラジン化合物（柴本崇行）  
古代肉桂史論(その17)（藤田安二）  
沖縄薄荷調査覚え帳(その1)（長沢徹）  
昭和49年1～12月香料輸出入実績



第112号 1975.9

醸造と香気物質の生成（吉沢淑）  
ビールの匂い（橋本直樹）  
洋酒の香気成分（西村驥一）  
醤油のにおい（横塚保）  
味噌のフレーバーについて（安平仁美）  
紅茶のかわり（伊奈和夫）  
食酢の香気成分について（伊藤寛）  
味と醜酵（山本淳）  
朝比奈泰彦先生を偲ぶ（刈米達夫）  
続・香料関係の邦文書類集（細田文一郎）  
平野一貴氏らの著書について書誌学的・考察（藤田安二）

第113号 1975.12

スパイス類の加水分解酵素に対する作用について  
第1報（加藤泰正・福場博保）  
第2報（加藤泰正・福場博保）  
キノコ類のフレーバー（毛利威徳）  
フレーバーの合成単体香料に関する最近の進歩（松倉十一）  
微生物による魚臭の除去について（藤井建夫）  
Vanilla Beansの芳香成分について（塩田晴康・糸賀康二）  
香料の起源について(その2) 古代中国における香料の起源に対するアプローチ(I)（藤田安二）  
Solidago属植物に含まれる化学成分について（辻久生・谷由美・上田博夫）  
第19回 香料・テルペン・精油化学に関する討論会（上野泰彦・中山孝吉・榎本良行）

第114号 1976.3

ワインについて（大塚謙一）  
スパイス類の加水分解酵素に対する作用について  
第3報（加藤泰正・福場博保）  
第4報（加藤泰正・福場博保）  
フレーバーの合成単体香料に関する最近の進歩（松倉十一）  
ジャスモンノイドの合成化学（鳥居滋・田中秀雄）  
ヨノン関連化合物とヨノンの光反応（衛藤英男・伊奈和夫）  
古代アリア人のソオマあるいはハオマとは何か（藤田安二）  
発酵乳製品の風味について（町原等夫）  
沖縄薄荷調査覚え帳(その2)（長沢徹）

第115号 1976.6

一第29回定時総会会長挨拶一（平泉貞吉）  
においと情報（湯川泰秀）  
鳥類の嗅覚について（渋谷達明）  
藤田安二理博の「古代肉桂史論」（山田憲太郎）  
くろもじの化学生態学（林七雄・古前恒）  
ウイキョウの古名の起源とその分布（藤田安二）  
フレーバーの合成単体香料に関する最近の進歩（松倉十一）  
フレーバーの分析（周随士）  
漢字礼讃（山田喬）  
昭和50年(1～12月)香料輸出入統計表

第116号 1976.10

ネパールにおけるじゃ香鹿（土屋自佑）  
白檀(Sandalwood)はインドの原植物でないということ（山田憲太郎）  
“匂い”と魚の行動（伊奈和夫）  
第9回国際化粧品技術者会議ボストン大会に出席して（五十幡巖）  
塩化ビニルを用いるグリニャール反応について（須賀恭一・渡辺昭次・藤田力）  
オオウイキョウについて（藤田安二）  
北の薄荷の旅（長沢徹）

第117号 1977.1

ゆとり（平泉貞吉）  
においに対する感情の応答（R.W.Moncrieff(訳)吉田利男）  
人類の6つの原香様式（J.E.Amoore(訳)平山潔）  
植物の香気（畑中顕和）  
ローマ人とインドの胡椒（山田憲太郎）  
フレーバーの合成単体香料に関する最近の進歩（松倉十一）  
第6回国際たばこ科学会議（吉田利男）  
第20回 香料・テルペン・精油化学に関する討論会（糸賀康二・笠井輝彦・田中順弘）  
第10回 味と匂のシンポジウム（井川喜富・吉倉正博）  
小竹先生を偲ぶ（富樫英一）

第118号 1977.4

池田鉄作先生を偲ぶ（平泉貞吉）  
日本の匂い（山田憲太郎）  
フレーバーの合成単体香料に関する最近の進歩（松倉十一）  
SAVORYによるβ-Amylase阻害作用について（加藤泰正・福場博保）  
鯉節（北英夫）  
最近のラクトンの化学（亀岡弘・平尾子之吉）  
フレーバ分析について(第二報)（周随士）  
昭和51年(1～12月)香料生産・輸出入統計表

第119号 1977.8 日本香料協会創立30周年記念号

創立30周年を迎えて（会長 平泉貞吉）  
日本香料協会創立30周年に当たりて（稲畑勝之助・今井信行・井上富夫・小川嘉治・小野正夫・  
小林米治郎・清水久司・曾田義二郎・富樫英一・長谷川正三・松沢潤吉・諸江辰男・野坂穰・  
高島主馬・金ヶ崎喜一郎・曾田政治・井上辰蔵・小林健次郎）  
日本香料協会創立20周年に寄す（平川喜美雄・宮沢香・江上不二夫・武田健一・鈴木治雄・  
中西健次・岡内英夫・阪本政弘・小林敦・佐藤新一・池田信彦・小池友蔵・高野新三郎・中山  
栄一・塩野太郎）  
海外商社祝辞（Bush Boake Allen Ltd. Charabot & CIE De Laire Descollonges Dragoco  
Felton International Inc. Nihon Fiwmenich k.k. Fritzsche Dodge & Olcott Inc.  
H. Reynaud Et Fils. International Flavors & Fragrance Inc. Laserson & Sabetay Mero  
& Boyveau Naarden International N.V. Norda P. Robertet & Co. Polaks Frutal Warks.  
Inc. Roure Bertrand Dupont S.A. Societe Anonyme Tombarel Freres V. Man Fils S.A.  
White Stevenson Ltd.）  
最近10年間の日本香料工業の回顧と現状（諸江辰男）  
植物のにおい（刈米達夫）  
粗糖の香気“植物とにおい”（武居三吉）  
私と精油研究（野副鉄男）  
中級(C<sub>8</sub>-C<sub>12</sub>)γ-ブチロラクトンの合成について（平尾子之吉）  
昆虫とイソプレノイド（田中正三）  
フランシスコ・ザビエー聖人の御遺体とインドのゴア（山田憲太郎）  
戦後30年を顧みて（湯川泰秀）  
香料・テルペン類の研究と私（宍戸圭一）  
広島におけるテルペン・精油化学研究の歩み（松浦多聞）  
樟と共に50年（広田直憲）  
カルダモム類生薬の鑑別（木村雄四郎）  
茶の香り（山西貞）  
酒の多様性“ワイン・ビール・日本酒の場合”（野白喜久雄）  
たばこにおい（大西勲）  
においとまたたび（目武雄）  
ハッカとシン（清水純夫）  
香と女性のたしなみ（三条西公正）  
匂いの研究—私の夢—（菊池俊英）  
精油成分の分離・分析開発余談（伊藤昌明）  
薄荷を追って（長沢徹）  
いまだから話そう（細田文一郎）  
中葉期における我が国香料業界史の一断面（岡田金吉）  
特集 わが国香料最近10年の進歩  
現代における国産天然香料論（舟茂洋一）  
最近10年間の合成香料に関する研究軌跡（松倉十一）  
最近の合成香料の概観（露木孝一・司英隆・松山均）  
調合香料の最近10年間の歩み—第一部—（勘角長之）  
調合香料の最近10年間の歩み—第二部—（勘角長之）  
食品香料の10年（小川香料食品香料研究所・塩野香料食品香料部・三栄化学工業香料部）  
食用色素・果汁・食品添加物—この10年—（三栄化学工業株式会社）

香料関係図書目録  
日本香料協会最近10年の歩み—総会および役員選任の概況:事業展開—

第120号 1978.1 第7回国際精油会議記念号

第7回国際精油会議京都大会開催に当って（中西健次）  
第7回国際精油会議（加藤泰正）  
インドにおける精油生産の現況と将来（S.C.Datta(訳)志賀実）  
インドネシアに於ける精油の現況（H.L.Tan(訳)木下敦夫）  
諸江辰男氏栄の藍綬褒章受章  
日本の香料史  
第一部 明治前・日本香料小史（山田憲太郎）  
第二部 わが国香料工業の沿革（平泉貞吉）  
清酒の香（野白喜久雄）  
フレーバーとフレグランスにおける微量成分の重要性（G●nther Ohloff(訳)所一彦）  
植物中のテルペノイド(揮発性および非揮発性)とその機能（Vlastimil Herout(訳)萩原利光）  
漢薬に於けるトリテルペン配糖体の化学と生物活性（柴田承二）  
スピロペチタン類とクシシンの全合成（George H. B●chi(訳)長倉晟）  
曾田政治氏ご逝去(弔辞)（中西健次）  
追懐 曾田政治氏を偲ぶ（松沢潤吉）  
刈米達夫先生のご逝去を悼む（木村雄四郎）